

論文審査の結果の要旨および担当者	
学位申請者	大杉 敬子
論文担当者	主査 木村 卓
	副査 島 正之
	副査 塚本 蔵
学位論文名	Association between low-carbohydrate diets and continuous glucose monitoring-derived time in ranges (炭水化物制限食と持続血糖モニターから得られた time in ranges (TIR)との関連)
<p style="text-align: center;">論文審査の結果の要旨</p> <p>総エネルギーに占める炭水化物の割合を減らし、脂肪とたんぱく質の摂取割合を増やす炭水化物制限食が体重減量目的で広く行われている。今回、炭水化物制限食については low-carbohydrate diet (LCD) score によって評価を行い、LCD score と持続グルコースモニター (CGM) で算出した血糖管理指標、および糖尿病合併症との関連について検討を行った。</p> <p>2018年5月から2022年7月までの間に CGM による血糖変動の評価、および質問紙票である brief-type self-administered diet history questionnaire (BDHQ) による食事調査を行った 40~81 歳の 2 型糖尿病患者を対象とした。目標血糖範囲内にとどまった時間の割合 (time in range: TIR)、Mean amplitude of glycemic excursions (MAGE) 等の血糖管理指標を算出した。</p> <p>対象者は 177 名 (女性 52 名)、年齢は 68 (63-72) 歳、LCD score に基づいて対象者を四分位に分割し、四群間の比較を行った。LCD score の増加に伴って BMI (P = 0.043)、TG (P < 0.001)、TAR (P = 0.017)、および HBGI (P = 0.021) は有意に減少した一方で、HbA1c、TIR、MAGE、UACR、PWV については有意な変化を認めなかった。</p> <p>本検討の結果から、LCD score の上昇、すなわち炭水化物エネルギー比率の低下に伴い、BMI、TAR などの高血糖指標、血清 TG が有意に減少することが示された。LCD score と TIR、および MAGE との間には有意な関連を認めず、糖尿病血管合併症との間にも有意な関連を認めなかった。</p> <p>本研究は炭水化物エネルギー比率の影響を明らかにしたものであり、2 型糖尿病患者の食事指導を考えるうえで意義のある知見である。学位授与に値するものとする。</p>	